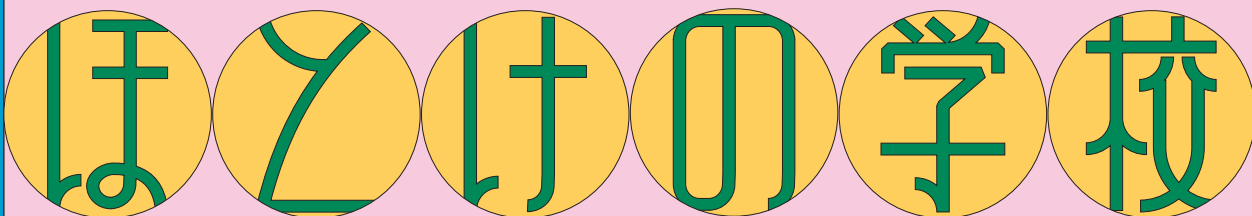
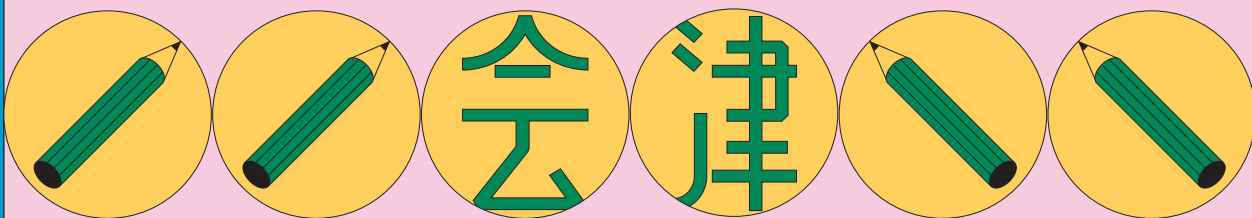


ほとがく
文化講座 2018

連続講座

「躍動する菩薩たち(全4回) —道昭・行基・徳一・最澄—」
☀ 2018.09.21(金) 18:00 ~ ☀ 第2回「仏教はだれのものか —行基菩薩—」

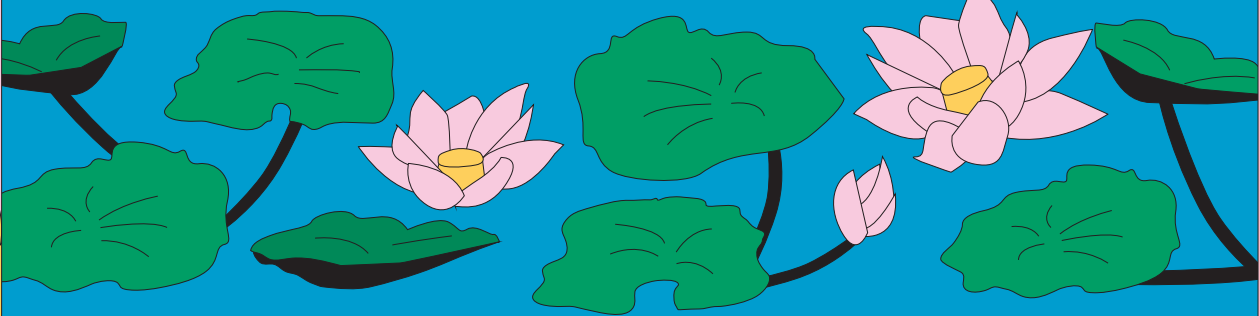


【会場】会津稽古堂 研修室3 【講師】高次 喜勝 (法相宗別格本山喜光寺 副住職 / 法相宗大本山薬師寺 唯識学寮研究員)

【受講料】大人1,000円 / 30歳以下、障害者手帳をお持ちの方500円 / 学生以下無料 (各講座1回ごと)

【お問い合わせ・申込】「会津ほとがくの学校」事務局 (担当:三留まき子) [Tel] 090-4713-8775 [Fax] 0241-45-4190 [Web] <http://aizu-hotogaku.jp>





講師：高次 喜勝

法相宗別格本山喜光寺 副住職
法相宗大本山薬師寺唯識学寮研究員

昭和 62 年 (1987) 11 月 4 日、大阪府豊中市生まれ。平成 18 年 (2006) 18 歳で法相宗大本山薬師寺に入山し出家。平成 24 年 (2012) 龍谷大学大学院修士課程を修了し、薬師寺の研究機関である唯識学寮の研究員に就任。平成 27 年 (2015) 27 歳で喜光寺の副住職に就任。奈良仏教を改革した行基菩薩や、東北地方に仏教を伝え最澄との論争で有名な徳一など日本仏教の僧侶の教えにくわしい。また各地で「心によりそう仏教」をテーマに、わかりやすい仏教を目指し法話を開催している。

連続講座【躍動する菩薩たち—道昭・行基・徳一・最澄—】開催にあたって

奈良時代から平安時代、民衆のために活動し、人びとから「菩薩」と呼ばれた僧侶たちがいました。有名な菩薩僧が行基・徳一です。古代の菩薩僧たちは、何を考えて活動したのでしょうか？現代の私たちは何を学べるのでしょうか？民衆のための仏教入門講座です。

高次 喜勝師は、法相宗の奈良薬師寺・喜光寺の僧侶として、「仏都会津」の祖・徳一を研究され、仏教をわかりやすく教えてください。今回、日本仏教のなかの「徳一」を知るための連続講座が実現しました。この講座では、現代を生きる僧侶の立場から、新たな徳一像を一緒に考えていきます。

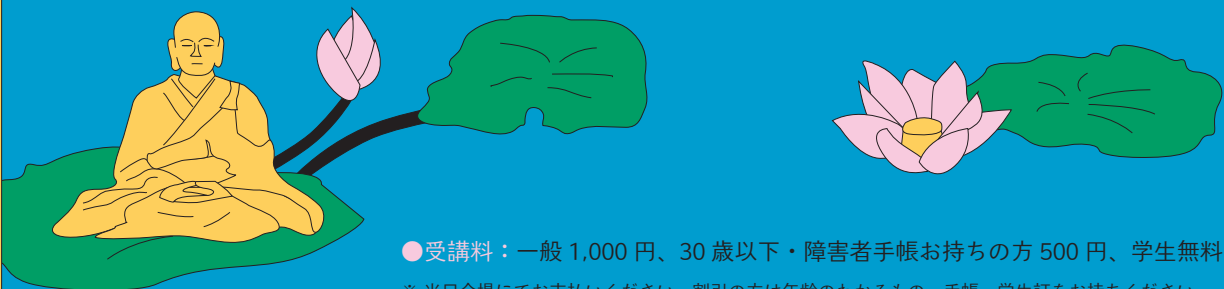
第 2 回目「仏教はだれのものか—行基菩薩—」

668 年に誕生した行基は、今年生誕 1350 年を迎えます。会津にも行基が建立したと伝わる寺院は多くあり、奈良時代を代表するお坊さんです。しかし、実際に行基が何を考えて、どのように活動し、民衆のために尽くしたかはあまり知られていません。行基も橋や堤を築き、池や水路を造り、旅人のための宿泊施設である布施屋を建てて民衆救済を行いました。また多くの寺院を建立し、今も多くの伝承が残っています。しかし、行基の活動は「僧尼令」に違反するとして、朝廷から「小僧行基」と批判され弾圧されました。行基の活動の原動力はどこにあったのでしょうか。“大仏さんを造った人”だけじゃない行基像を探ります。

※この後第 3～4 回「徳一と最澄」の予定です。詳細は決定次第、別途チラシ、web にて告知します。

講師からのメッセージ：

行基さんは、もっとも有名な菩薩僧で、法相宗の僧であり、私が副住職をつとめる喜光寺で入寂されました。行基さんの生涯を追っていくと行基さんの仏教観や葛藤が見えてきます。奈良時代の人びとの気持ちになって考えると、歴史上の人物がいきいきと動き出します。ぜひ知られざる奈良時代へまいるましょう。



ほとがくウェブサイト
QRコード

●受講料：一般 1,000 円、30 歳以下・障害者手帳お持ちの方 500 円、学生無料
※ 当日会場にてお支払いください。割引の方は年齢のわかるもの、手帳、学生証をお持ちください。

●会場：会津若松市生涯学習総合センター稽古堂 研修室

福島県会津若松市栄町 3 番 50 号 0242-22-4700

JR 会津若松駅から 1.5km / 磐越道 会津若松インターから 3.6km

●お申込み：WEB サイトの申込フォーム、または電話にてお申し込みください。空席がございましたら、当日の参加も受け付けます。

●お問い合わせ：「会津ほとけの学校」事務局（担当：三留まき子）

969-4406 福島県耶麻郡西会津町野沢字如法寺乙 3533 鳥追観音如法寺内

[主催] 会津ほとけの学校（鳥追観音如法寺）

[後援] 会津と奈良いにしへの継承委員会 / 徳一菩薩に学ぶ会

